



芸人・**西野 亮廣**さん
絵本作家

川西市出身。1999年、梶原雄太さんと漫才コンビ「キングコング」を結成。絵本作家としても活躍し、代表作「えんとつ町のプペル」は発行部数60万部を突破。映画化もされ、現在公開中。海外でもライブや個展を行う他、会員数国内最大のオンラインサロン「西野亮廣エンタメ研究所」を運営するなど幅広く活動を行っている。



川西のまちと世界を比べて思うこと

基本的には可能性しかないと思うんですね、川西市っていうまちに。国内外いろんな都市に行っているんですけども、川西には自然があって、利便性が良くて、という点で。

僕は川西で生まれ育ったので、特別なまちではないと思っ
ていたんですが、世界中を周
てみると、意外や意外。ここ
てすごく恵まれた土地だったん
だなっていうのは今になって思
います。

大体東京をコピーしたまちは死んでいきます。みんな東京に憧れちゃう。そのまちの色がなくなると、行く必要がないま
ちになります。だから大体地方
の人が地方をつぶすっていうのは定番ですね。

外野がちゃんとしてきて、外野の意見を聞くっていうのをやらないといけない。僕は川西に帰ってきては川西の人と飲むんですが、川西の人ほど自然を壊そうとする。川西は自然がすごく財産で。梅田とかの都心部から、20〜30分でこんなに豊かな自然があるっていうのは基本的にないんです。

このまちの武器は何か、みんなで考える

でも、川西の人はそれをどん
どんつぶそうとする。これは逆
で、お金をかけて、自然を残し
ていかなきゃいけない。
放っておいたら多分なくなっ
ていくだろうなと思います。そ
うなって欲しくないし、守らな
いとなあ。

川西市の未来のために
市民へメッセージ

次の世代の子たちのことや、おじいちゃんおばあちゃん、こ
れからおじいちゃんおばあちゃんになる人たちのことを考えた
ときに、どう考えたって、川西
は人が来るまちにしないとけ
ない。精神論とかじゃなくて。
「頑張ろう」とか「夢や希望を
持とう」とかそういうことでは
なくて、物理的に守れなくなる。
みんなでコミュニケーション
をとって、このまちの武器は何
なんだとか、何を守らなきゃい
けないんだとか考えないといけ
ない。

「せーの」で、ちゃんと手を
組んで、いろんな地域から来て
もらって、川西のものを食べて
もらって、川西のものを食べて
もらってっていうまちを、みんな
でそろそろつくりにかかない
と、と思っています。

CHECK & QUIZ 次の空欄 (○の中) を埋めてください。

1: コロナ禍を○り越えるために 2: 懐古○列の出演者を募集

クイズ正解者の中から図書カード(1,000円分)を5人に差し上げます(正解者多数の場合は抽選。当選者のみに送付します)。応募方法: 市ホームページ(右の2次元コードからアクセス可)から必要事項を送信するか、はがきにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、興味のある記事と感想を書き、1月12日(火)(消印有効)までに〒666-8501・広報広聴課「クイズ」係へ。

※12月号の正解は(人)(抽)で、113件の応募がありました。



11月末現在の人口

男.....73,924人 (-12)
女.....82,361人 (-31)
計.....156,285人 (-43)
世帯数...70,381世帯 (+25)